

シンポジウム「越境するナラティブ——他／多言語による
文学は何を紡ぐか——」
プログラム

開催日：2026年2月14日(土)13:00-17:00

会場：富山大学五福キャンパス人文学部棟3F 第6講義室

13:00-13:10(10分)

開会挨拶

秋田 万里子(富山大学)

13:10-13:35(25分)

西 成彦(立命館大学名誉教授：ポーランド文学・比較文学)

「旅するひと、旅する言葉」

司会：福島 亮(富山大学)

13:35-14:00(25分)

秋田 万里子(富山大学：ユダヤ系アメリカ文学)

「消えゆくものに息を吹き込む——『ヒストリー・オブ・ラブ』における翻訳と継承」

司会：福島 亮(富山大学)

14:00-14:25(25分)

中里 まき子(岩手大学：現代フランス文学)

「シュヴァルツ＝バルトの小説が伝えるユダヤ人の記憶と黒人の記憶」

司会：福島 亮(富山大学)

14:25-14:35(10分)

休憩

14:35-15:00(25分)

福島 亮(富山大学:フランス語圏文学・思想)

「環大西洋アフリカ人強制移送(DTS)の記憶——アフロトロープを手がかりに」

司会:秋田 万里子(富山大学)

15:00-15:25(25分)

水野 真理子(富山大学:日系アメリカ文学)

「日系アメリカ文学史の再考——こぼれ落ちた文学活動を問い合わせ直す」

司会:秋田 万里子(富山大学)

15:25-15:50(25分)

日比 嘉高(名古屋大学:日本近現代文学・出版文化史)

「越境する文学は何に支えられていたのか——帝国日本の出版文化から考える」

司会:秋田 万里子(富山大学)

15:50-16:00(10分)休憩

16:00-16:50(50分)

全体討論・質疑応答

ディスカッサント:武田 昭文(富山大学)

16:50-17:00(10分)

閉会挨拶

秋田 万里子(富山大学)

18:30-20:30

懇親会
